

小学校社会科学学習指導案

呉市立明立小学校
教諭 堀江 大志

- 1 学 年 第5学年
- 2 単 元 名 工業の今と未来
- 3 単元について

(1) 単元観

本単元は、小学校学習指導要領の社会、第5学年の内容(3)「我が国の工業生産について、次のことを調査したり地図や地球儀、資料などを活用したりして調べ、それらは、国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考えるようにする。」を受けて設定した。学習対象は、「我が国の各種の工業生産や工業地域の分布など」「工業生産に従事している人々の工夫や努力、工業生産を支える貿易や運輸などの働き」とし、これらの学習を通して、我が国全体の工業生産の現状や特色、工業生産に従事している人々の工夫や努力、貿易や運輸の働き等について捉え、我が国の工業生産は国民生活を支える重要な役割を果たしていることについて考えさせることをねらいとしている。

我が国は、現在、工業生産額が世界で第3位であり、世界有数の工業国である。中でも機械工業が最も盛んであり、それを基にした加工貿易が日本経済の特徴の一つとなっている。さらに、高い技術力に支えられた工業製品は、国内だけでなく国外においてもその品質が高く評価されている。しかし、近年円高、新興国の工業の発展、環境への意識の高まり、消費者の多様なニーズ等から、我が国の工業は生産の拠点を海外に移したり、付加価値のより高い製品や環境に配慮した製品を生み出したりして生産の転換を行っている。このような我が国の工業生産の変化を捉え、環境保全の視点等を踏まえた持続可能な工業生産の在り方について学習することは、我が国の工業生産が国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考える上で重要であると考えられる。

中央教育審議会答申の社会科、地理歴史科、公民科の改善の基本方針には、社会的事象に関心をもって多面的・多角的に考察し、公正に判断する能力と態度を養うことと示されている。また、小学校学習指導要領の社会には、第5学年の能力に関する目標において、社会的事象の意味について考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにすると示されている。本単元は、我が国の工業や貿易の特色について考察したことを基に、これからの工業生産の在り方について判断する学習過程をとることから、これらの力を高める上で、適した単元であると考えられる。

(2) 児童観

本学級の児童は、社会科の学習に意欲的に取り組む児童が多い。農業や水産業の学習においては、学習内容に関わりのある資料を収集したり、教科書や資料集、インターネットなどを使って事前に調べてきたりする児童が多く、主体的に学習を行っていた。一方で、授業中は活発に意見を出し合いながら考えを交流し合う学習を行うが、根拠を示さずに考えを発表することが少なくない。本学級の全児童を対象としたアンケート調査では、「理由を付けて自分の考えが書けた。」という問いに対し、28人中21人の児童が「あまりできなかった。」「できなかった。」と、否定的な回答をしている。これらのことから、本学級の児童は、理由を付けて考えることや表現することに苦手意識をもっていることが分かる。その原因として、社会科の学習において、社会的事象の根拠を明らかにして自分の考えをもつことや公正に判断する能力が、十分に身に付いていないからだと考えられる。

(3) 指導観

指導に当たっては、前単元の「自動車工場の様子」の学習内容や資料等を活用して、我が国の工業生産の概要を捉えるようにする。具体的には、工場の立地や貿易の特色、中小工場の様子や海外生産等の意味やこれらがどのように関連しているのかについて考えさせることで、我が国の工業生産は国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考えさせたい。その際、判断に至る思考の道筋が図式化されたトゥールミンモデルを活用する。このモデルは、データ、主張、理由付けの関係を書かせることによ

って、根拠を明確にして考えを導き出そうとするものである。これからの工業生産の在り方等，学習したことを基に思考・判断する場だけでなく，我が国の工業の特色を捉える際にもツールミンモデルを活用させ，児童が根拠を整理しながら多面的に思考・判断できるようにしたい。さらに，個人内の思考・判断だけでなく，他の児童と根拠を述べながら考えを交流する場を学習過程に取り入れることにより，自分との共通点や相違点を比較したり，関連付けたりして思考し，より公正に判断できるようにしていきたい。



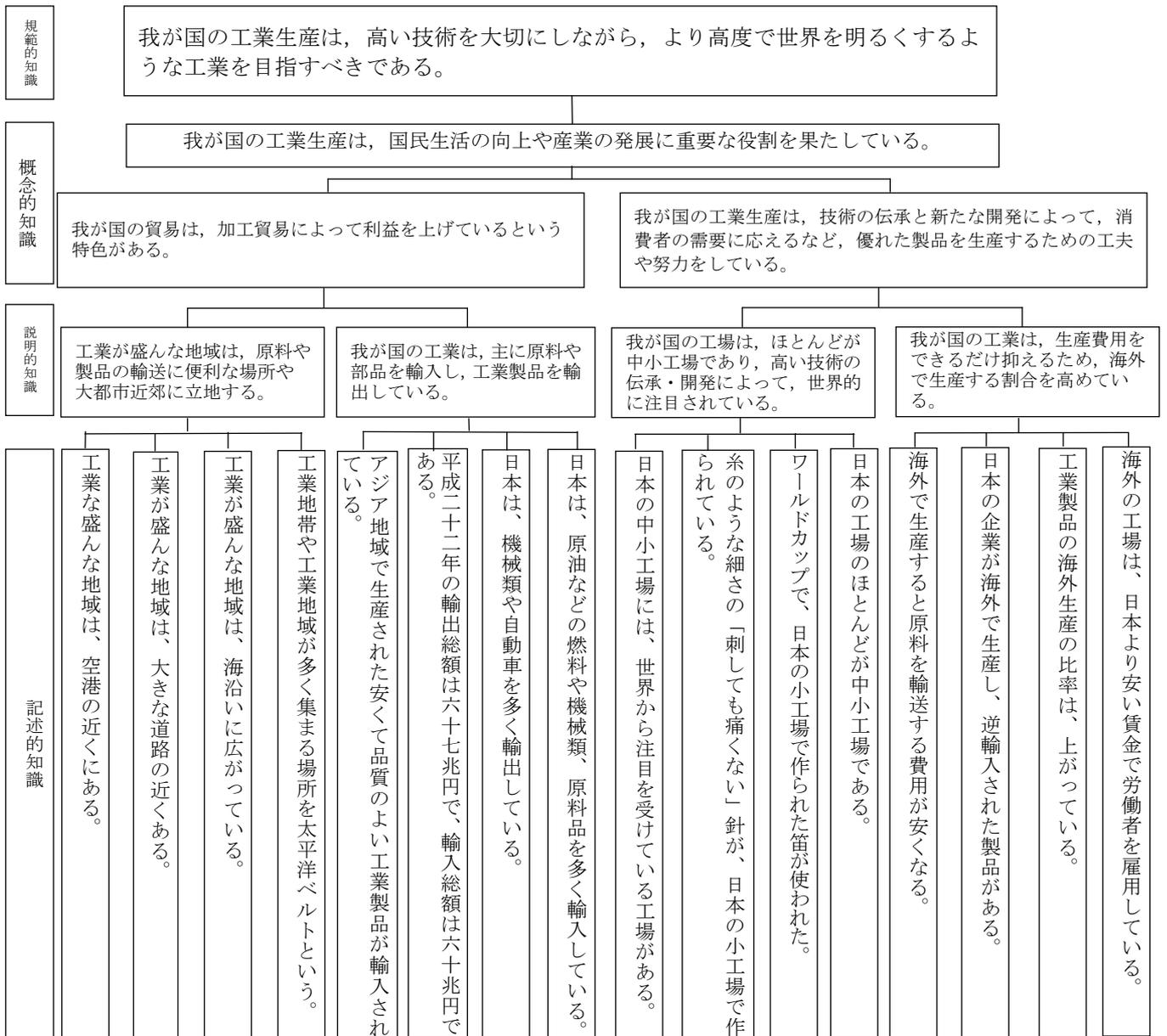
4 単元の目標

- ・ 我が国の工業生産に関心をもち，統計や写真などの資料を活用して調べることを通して，各種の工業生産や工業地域の分布，貿易や運輸の働きを捉え，我が国の工業生産が国民生活を支える重要な役割を果たしていることについて考える。
- ・ 我が国の工業生産や工業地域の様子から学習課題を見だし，地図，統計，写真などの資料を活用して調べたことをワークシート等にまとめるとともに，我が国の工業生産の現状や特色について考えたことを適切に表現する。

5 単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	観察・資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
① 我が国の工業生産や貿易の様子に関心をもち，意欲的に調べている。	① 我が国の工業生産や貿易の様子について，学習課題や予想，学習計画を考え表現している。	① 地図や地球儀，統計等の資料を活用して，我が国の工業生産や貿易の様子について必要な情報を集め，読み取っている。	① 我が国の工業生産は国民生活を支える重要な役割を果たしていることを理解している。
② 国民生活を支える我が国の工業生産の発展を考えようとしている。	② 我が国の工業生産や貿易の様子と国民生活とを関連付けて，工業生産が国民生活を支える重要な役割を果たしていることを多面的に考え，適切に表現している。	② 調べたことをワークシート等にまとめている。	② 我が国の工業生産や貿易の特色について理解している。

6 本単元の知識の構造図



7 指導と評価の計画（全7時間）

次	時	学習内容（主な発問）	評価				主な評価規準	評価方法
			関	思	技	知		
1	1	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りの工業製品について知る。（身の回りの工業製品を探して、仲間分けをしよう。） 工業製品の仲間分けを基に、学習課題を設定し、学習計画を立てる。 	◎	○			<ul style="list-style-type: none"> 身の回りの工業製品について、意欲的に調べようとしている。（関①） 我が国の工業生産や貿易の様子について、学習課題や予想、学習計画を考え表現している。（思①） 	ワークシート 行動観察
		日本の工業生産には、どのような特色があるのだろうか						
2	2	工業のさかんな地域の条件について考える。（工業は、どのような場所でさかんになっているのだろうか。）		◎			<ul style="list-style-type: none"> 工業がさかんな地域の立地条件について、土地の条件や交通網等を関わらせて、多面的に考え、判断している。（思②） 	ワークシート 発表
	3	我が国の貿易の特色について調べる。（なぜ、加工貿易をするのだろうか。）			◎		<ul style="list-style-type: none"> 日本の貿易の特色について、資料から読み取り、ワークシートにまとめている。（技①②） 	ワークシート 発表
	4	我が国の工場の特色について考え、工業製品が高い技術力によって生産されていることを理解する。（なぜ、我が国の中小工場に世界から注文がきているのだろうか。）				◎	<ul style="list-style-type: none"> 中小工場が、高い技術力等により我が国の工業を支えていることを理解している。（知①） 	ワークシート 発表
	5	海外生産が増えている理由について理解する。（なぜ海外生産が増えているのだろうか。）				◎	<ul style="list-style-type: none"> 企業の努力や海外での労働条件を結びつけ、海外生産が増えている理由について理解している。（知②） 	ワークシート 発表
3	6	工業製品と生活の関わりについて考えたことを基に、学習課題を再設定する。（工業製品によって、私たちの生活はよくなっただろうか。）		◎			<ul style="list-style-type: none"> 工業製品がもたらしたプラス面とマイナス面との両面から考えたことを基に判断し、新たな学習課題を考えている。（思①） 	ワークシート 発表
		これからの工業製品は何を目指せばよいのか考えよう。						
4	7	これからの工業製品について考える。（これからの工業製品は、どのようなものをつくるべきだろうか。）	◎	○			<ul style="list-style-type: none"> 国民生活を支える我が国の工業生産の発展を考えようとしている。（関②） これからの工業生産が目指す方向について、我が国の工業の特色や先進的な取組例を関連させて多面的に考え、それを基に今後どのような製品を作っていくべきか判断する。（思②） 	ワークシート 発表

8 本時の展開

【第2時】

(1) 本時の目標

工業がさかんな地域の条件について、グラフや地図などを活用して調べたことを基に、多面的に考え、判断することができる。

(2) 学習の展開

学習活動「発問・指示」	指導上の留意事項	評価規準と評価方法
<p>1 工業がさかんな地域をイメージする。</p> <p>2 本時の学習課題を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 工場地帯の動画を視聴させて、工業がさかんな地域とはどのような所か、視覚的に捉えさせる。 	
<p>工業は、どのような場所でさかんになっているのだろうか。</p>		
<p>3 学習課題について、予想する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「工業は、どのような場所でさかんになっているのだろうか。」 <p>4 工業のさかんな地域を調べ、白地図にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「地図帳から、工業のさかんな地域はどこにあるか調べ、白地図にまとめましょう。」 <p>5 工業のさかんな地域の条件について考え、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「どのような場所で工業がさかんになっていましたか。」 「なぜ、工業は、このような場所でさかんになっているのでしょうか。」 <p>6 学習のまとめをする</p> <ul style="list-style-type: none"> 「工業のさかんな地域について、主張、事実、理由付けをトゥールミンモデルのワークシートにまとめよう。」 	<ul style="list-style-type: none"> 動画のイメージから予想したことをトゥールミンモデルに書かせる。主張だけでもよいこととする。 教科書や資料集を用いて、工業がさかんな地域を調べ白地図に印を付けさせる。 白地図にまとめたことや、教科書、資料集の写真資料を根拠に話し合わせる。 資料を関連させたり、総合させたりしながら、できるだけ多くの場合に当てはまる理由を考えさせる。 トゥールミンモデルを活用し、書かせる。まずは、自分で書かせた後、交流させる。 予想の際に書いた内容などを残させることで、考えが深まっていった過程を確認できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 工業がさかんな地域の条件について、その土地の条件や交通網などを関わらせるなど、多面的に考え、判断している。(思②ワークシート・発表)
<p>トゥールミンモデルの例</p>		
<p>工業のさかんな地域は、原材料や製品を輸送するのに便利な所や働く人を確保しやすい人口の多い所などに立地する。</p>		

【第6時】

(1) 本時の目標

工業製品が、生活に果たしてきた役割について、多面的に考察し判断したことを基に、工業生産についての新たな学習課題を考えることができる。

(2) 本時の学習展開

学習活動「発問・指示」	指導上の留意事項	評価規準と評価方法
<p>1 身の回りの工業製品について発表する。</p> <p>・「よく使う工業製品は何ですか」</p> <p>2 本時の学習課題を確認する。</p>	<p>・身の回りにある工業製品をできるだけ多く出させ、どのようなところが便利なのか話し合わせる。</p>	
<p>工業製品によって、私たちの生活はよくなったのだろうか。</p>		
<p>3 工業の発達が生活にどのような変化をもたらしたか考える。</p> <p>・「工業製品によって私たちの生活はよくなりましたか。トゥールミンモデルにまとめましょう。」</p> <div data-bbox="185 831 636 1070" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>トゥールミンモデルの例</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40%;"> <p>テレビゲームやテレビが発達した。</p> </div> <div style="font-size: 2em; margin: 0 10px;">➔</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40%;"> <p>生活はよくなった。</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>テレビやテレビゲームがあると生活が楽しくなる。楽しいことはよい。</p> </div> </div> <p>4 学習課題について、考えたことを話し合う。</p> <p>・「友だちの意見や資料を基に、様々な面から再び考えて、トゥールミンモデルに書き加えましょう。」</p> <div data-bbox="196 1272 647 1563" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>トゥールミンモデルの例</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40%;"> <p>テレビゲームやテレビが発達した。ゲームの影響で家庭での会話が減った。</p> </div> <div style="font-size: 2em; margin: 0 10px;">➔</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40%;"> <p>生活はよくなったけど問題も多い。</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>テレビやテレビゲームがあると生活が楽しくなる。しかし、家庭での会話が少なくなり、人と人との関わりが減るというのは、本当に意味では楽しくないと思う。</p> </div> </div> <p>5 学習のまとめをする。</p> <p>・「今日の学習を通して、分かったことや考えたことを発表しましょう。」</p>	<p>・学習活動1で出された意見を参考にし、まずトゥールミンモデルに主張を書かせ、その後、根拠や理由付けを考えさせる。</p> <p>・調べたり、他の児童と交流する中で、主張等が変わった際は、書き直したり、書き加えたりしたりしてもよいことを伝える。</p> <p>・教師が提示した資料や他の児童の意見を基に、トゥールミンモデルにまとめた内容を交流させ、多面的に考察させる。</p> <p>・洗濯機、携帯電話、携帯ゲーム機、テレビ、自動車などの写真や絵、統計資料などを提示し、工業製品が生活を便利で快適にしている面を補足する。</p> <p>・産業廃棄物やゲーム機の影響等の資料を提示し、工業の発達がもたらした負の面についても補足する。</p>	
<p>工業製品は、生活を便利に快適にした反面、様々な問題点を作り出している。</p>		
<p>6 次時の学習課題を設定する。</p> <p>・「今日の学習で考えたことから、次回の学習課題について考えましょう。」</p>	<p>・児童から出た意見をまとめ、新たな学習課題を構成する。</p>	<p>・工業製品がもたらしたプラス面とマイナス面の両面から考えたことを基に判断し、新たな学習課題を考えている。(思①ワークシート)</p>
<p>これからの工業製品は何を目指せばよいのか考えよう。</p>		

